



尾形的

1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata

第二十八章
活きる



PHOTO TECHNIC DIGITAL 2009 JUN.

平安時代末期、巨悪の限りをつくした“東尋坊”という名の怪力の僧がいた。美しい姫君に心を奪われた彼は、恋敵である真柄覚念という僧と激しくいがみ合う。ある時、岩場の上で酒宴を催した真柄覚念が、すきを見て東尋坊を断崖絶壁から突き落とす。すると突然、空が荒れ始め、雷と暴風雨が49日も続いた。毎年命日にあたる4月5日は東尋坊の怨霊が大波と化して、岩壁を激しく打ち殴り続けたとされ、この岩壁が「東尋坊」と呼ばれることになった。

そんな儚くも切ない逸話を知ってか知らずか、夫はある日、何かに呼ばれるように、その福井県・東尋坊へ向かった。夫はかな

り自由人（まあ、私的には理解不能な部分が多々あるので、宇宙人だと思っているのだが）で、いつも思いつきで突発的に行動する。この時も、季節や天候も無関係に飛び出していった。いい季節の、いい天気の日だったら、海沿いの景色や、絶景ポイントを堪能できただろう。しかし、行った日が悪かった。薄曇りの平日は観光客もまばら。辺りの静けさで、余計に薄ら寒い気分を味わった夫は、すぐに東尋坊を後にした。

何となく悶々とした思いで車を走らせていた帰り道、それは現れた。一面に広がる黄金色の絨毯。いつの間にか顔を出した太陽の光を存分に受け、黄金色に輝く、水仙

の群れだった。花の命は短く、精一杯咲き誇る姿はひたむきそのもの。花の小さな温もりで心奪われたのも、やはり東尋坊に行った日が悪かったからか？早速、車を止め、夫はハンドルからカメラに持ち替えた。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>